

## 「にこにこ」・「こつこつ」の成果

九町小学校の校訓は「生き生き にこにこ こつこつ」です。この校訓に基づいて教育計画を立てるということは、以前、この紙面でも紹介しました。先週、九町小学校で行った活動は、この校訓の「にこにこ」と「こつこつ」に当てはまります。

7日に行った6年生を送る会は、「みんなにこにこ楽しい学校」を目指すために仲間意識を高める教育活動です。5年生が中心となってゲームを準備しました。じゃんけんボウリングや6年生〇×クイズ、6年生対学団のしっぽとり（先生チームとの対決も！）など楽しい時間を過ごしました。その後で、似顔絵と色紙をプレゼントしました。お世話になった6年生に、感謝の思いを伝えるすてきな会になったと感じました。

また、次年度、九町小学校の最高学年となる5年生の意気込みも感じました。小規模校ならではの異学年のつながりの強さも、本校の特色の一つです。

もう一つの特色は「俳句」です。愛媛新聞の俳句キッズでの本校児童の活躍や、28号を刊行する親子文芸集「薫風」など、俳句活動への取組を通じて表現力の育成と向上に成果を上げてきました。

毎週、こつこつと続けてきた俳句活動。子供たちの作った俳句を見ると、友達が作ったすてきな俳句から刺激を受け、自分の表現力も磨いているようです。タネが育って花を咲かせ、また次の世代にタネを残しているように感じます。

6日には、NHKが本校の俳句活動について取材に来ました。俳句集会や俳句作りの様子を撮影していました。放送は4月ごろになるそうです。お楽しみに！

